



第16回ビバホールチェロコンクール開催

第16回ビバホールチェロコンクールの一次予選を2025年7月9日（水）午前10時から養父市立ビバホールで開催します。本選は2025年7月13日（日）午前10時開始予定です。

ビバホールチェロコンクールは、市民参加で将来性豊かな才能ある若いチェロ奏者を発掘・育成することを通して、養父市の文化の高揚とイメージアップを図ることを目的に、平成6年度から開催しています。

1 主催

養父市、養父市教育委員会、ビバホールチェロコンクール実行委員会

2 開催日時

▽一次予選 2025年7月9日（水） 午前10時～午後7時20分頃（予定）
7月10日（木） 午前10時～午後3時20分頃（予定）

※タイムテーブルは別紙のとおりですが、棄権者などの事情で変更することがあります。

※撮影可能時間（予め時間を決定の上、申し込みいただきお越しく下さい。）

7月9日（水） ①午後0時20分～午後0時30分
②午後2時24分～午後2時34分

7月10日（木） ①午前10時52分～午前11時02分
②午後2時21分～午後2時31分

▽二次予選 7月11日（金） 午前9時開始

▽本選 7月13日（日） 午前10時開始

※二次予選及び本選のタイムテーブルは、未定です。

※本選後、審査結果が決定次第、表彰式を行います。表彰式後の入賞者祝賀会は開催しません。

3 会場

養父市立ビバホール（養父市広谷 250 番地 電話：079-664-1141）

4 入場料

予選は無料ですが、入場整理券が必要。本選（7月13日）は、有料（500円、学生は無料）。入場券は市内4公民館（八鹿、養父、大屋、関宮）で配布・販売しています。

5 後援

兵庫県、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、朝日新聞豊岡支局、神戸新聞社、毎日新聞豊岡支局、読売新聞豊岡支局、産経新聞社、一般財団法人日本チェロ協会

6 応募状況

別紙資料のとおり。出場資格は、15歳以上35歳以下の者（2025年4月2日現在の満年齢）。

7 その他

・コンクールの運営は、ボランティアスタッフが主体となって行います。（ホームステイは行いません。）

・13日の本選出場者は8人を予定。午前10時開始、午後5時頃終了、午後6時から表彰式を行う目途としています。

【問合せ】 市民生活部 養父地域局（養父公民館） 館長：小谷 茂美 担当者：森本 重良
電話：079-664-1141

第16回 ビバホール チェロコンクール

会場 養父市立ビバホール

- 一次・二次予選は入場無料ですが、整理券が必要です。
- 本選のみ有料。(チケット料金) 500円 (学生無料)
- 未就学児のご入場はできません。

※やむを得ない状況により中止または延期する場合があります。
※コンクール期間中ホール内は湿気対策のため冷房を効かせますのでとても寒くなります。お手数ですがご来場の際は冷房対策をお願いいたします。

- 一次予選 2025年 7月 9日(水) 10時開始予定 (入場無料)
- 7月10日(木) 10時開始予定 (入場無料)
- 二次予選 7月11日(金) 9時開始予定 (入場無料)
- 本選 7月13日(日) 10時開始予定 (有料)

開始時間は本選を含め、全ての日程が午前中からとなります。
ご注意ください。
聴衆賞の投票は、開演より終演までお聴きいただいた方のみご参加いただけます。



審査員 敬称略、五十音順

審査員長 河野 文昭
秋津 智承
苅田 雅治
菊地 知也
斎藤 建寛
松波 恵子
宮田 大
向山 佳絵子

名誉顧問 堤 剛



主催 ■ 養父市、養父市教育委員会
ビバホールチェロコンクール実行委員会

後援 ■ 兵庫県、NHK神戸放送局、サンテレビジョン
朝日新聞豊岡支局、神戸新聞社、毎日新聞豊岡支局
読売新聞豊岡支局、産経新聞社、一般財団法人日本チェロ協会

お問い合わせ

養父市立
養父公民館・ビバホール

〒667-0101 兵庫県養父市広谷250番地
TEL.079-664-1141 FAX.079-664-1363

URL

<http://vivahall.sakura.ne.jp>

E-mail

viva.cello.1994@gmail.com

第16回ビバホールチェロコンクール詳細WEBサイト





コンクールを支えていただく審査員の先生



審査員長 河野 文昭 (こうの ふみあき)

兵庫県立神戸高校在学中にチェロを始める。京都市立芸術大学にて黒沼俊夫氏に師事。卒業後、ロスアンゼルスにてG. ライトー氏に、ウィーン国立音楽学校にてA. ナヴァラ氏に師事。静岡音楽館AOI・レジデンス・クワルテット、クインテット WAM・キョウト、アンサンブルofトウキョウ、東京クライスアンサンブルのメンバー。1981年第50回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年京都市芸術新人賞をはじめ、1987年京都府文化賞奨励賞、2004年京都府文化賞功労賞を受賞。2017年度京都市文化功労者。1993年～2003年、ゆいひん音楽祭音楽監督。東京藝術大学名誉教授。



審査員 秋津 智承 (あきつ ちしょう)

桐朋学園大学、ボストン・ニューイングランド音楽院卒。齋藤秀雄、井上頼豊、安田謙一郎、ローレンス・レッサー氏らに師事。第46回日本音楽コンクール第2位、第8回チャイコフスキー国際コンクール第7位入賞。仙台フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団の首席奏者、水戸室内管弦楽団を歴任。平成8年広島県「エネルギー音楽賞」を受賞。ピバホール・チェロコンクール、日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール審査委員。これまでに「パッサ無伴奏チェロ組曲全曲」「ラテンの夜～あうんのふたり～」をリリース。



審査員 菊田 雅治 (かんだ まさはる)

桐朋学園大学で井上頼豊に師事。1973年第42回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1982～90年東京都交響楽団首席チェロ奏者を務める。1982年よりニューアーツ弦楽四重奏団に参加し、団として1992年第4回飛騨古川音楽大賞奨励賞、1994年度文化庁芸術祭賞、1994年度第13回中島健蔵音楽賞を受賞した。個人としても1992年度第11回中島健蔵音楽賞受賞。2005年秋、弦楽四重奏団クワトロ・ピアチェーリを結成。2006年11月からスタートした定期演奏会で、ショスタコーヴィチの全弦楽四重奏を演奏するプロジェクトを開催。2010年11月に開催した第9回定期演奏会で、平成22年度第65回文化庁芸術祭大賞を受賞。現在、東京音楽大学客員教授、桐朋学園大学非常勤講師。



審査員 松波 恵子 (まつなみ けいこ)

東京藝術大学附属音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。霧島国際音楽祭にて奨励賞受賞。東京藝術大学にて安宅賞受賞。第60回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞、特別賞受賞。第4回日本室内楽コンクール第1位、併せて東京都知事賞受賞。第1回全日本ピバホールチェロコンクール第1位。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等に参加。現在、アクロス弦楽合奏団、アンサンブル・ノマド、カルテット・プラチナム等のメンバー、日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェリスト。東京藝術大学、桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。公益社団法人日本演奏連盟理事、一般財団法人日本チェロ協会理事。才能教育研究会特別講師。



審査員 斎藤 建寛 (さいとう たつお)

桐朋学園大学音楽学部卒業。スイス・ジュネーブ音楽院修了。齋藤秀雄、井上頼豊、ギー・ファローの諸氏に師事。日演連賞、芸団協賞、東京国際音楽コンクール室内楽の部1位なしの第2位、名古屋市より都市文化奨励賞、大阪市より第3回咲くやこの花賞などを受賞。これまでにドイツ、スイス、ポーランドの9都市でリサイタルを行うほか、国内ではJ.S.バッハの「無伴奏チェロ組曲全6曲」を1曲ずつ織り込んだプログラムによる「斎藤建寛リサイタルシリーズ全6回」、「愛の音」「愛の音part2」、「魂のソナタ」などを開催。相愛大学音楽学部、同大学院教授を歴任。現在、相愛大学名誉教授。



審査員 向山 佳絵子 (むこうやま かえこ)

桐朋学園音楽科で学んだ後パリに留学。佐藤良雄、齋藤秀雄、アンドレ・ナヴァラの各氏に師事。第34回日本音楽コンクール第2位、1972年パリ国際チェロコンクール特別賞、1973年ガスパール・カサド国際チェロコンクール第3位。帰国後'75年から'92年まで新日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を務めた他、数々のリサイタル、室内楽で活躍。サイトウ・キネン・オーケストラに創設時より2006年まで参加。1995年から2013年まで水戸室内管弦楽団のメンバー。その他桐朋学園、東京音楽大学などで多くのチェリストを育てている。パッサ無伴奏組曲全6曲及びチェロとピアノデュオ〈浪漫への誘い〉(レコード芸術誌の特選盤)のCDをリリース。



審査員 宮田 大 (みやた だい)

第6回ピバホールチェロコンクール第1位、第74回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、同時に増沢賞、徳永賞、岩谷賞を受賞。2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにて日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝。その圧倒的な演奏は、世界的指揮者・小澤征爾をはじめ多くの指揮者に絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。現在、ソロ活動や室内楽活動と共に、桐朋学園大学特任教授、桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)非常勤講師を務める。



審査員 堤 剛 (つづみ つよし)

東京藝術大学を経てドイツ・リュウベック国立音楽大学に留学。松波恵子、堀江泰氏、レーヌ・フラショー、毛利伯郎、ダヴィド・ゲリンガスの各氏に師事。第54回日本音楽コンクール第1位、第10回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第1位、1987年度アリオン賞審査委員奨励賞、第2回出光音楽賞の各賞を受賞。アルグリッチ、ギトリスほか世界の一流演奏家や、N響を始めとする国内外の主要オーケストラと共演。またリサイタル、室内楽、公演プランナー、FMのパーソナリティと多彩に活躍。2017年まで4年間N響首席奏者も務めた。録音は5枚のアルバムと、池田晋一郎、三善晃のチェロ協奏曲、また室内楽や12人のチェリストによるCDも発売。2018年～2024年3月京都市立芸術大学准教授、2024年4月より東京藝術大学准教授。



名誉顧問 堤 剛 (つづみ つよし)

桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事。1961年インディアナ大学に留学し、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。63年ミュンヘン国際コンクールで第2位、ブダペストでのカザルス国際コンクールで第1位入賞。これまでに鳥井音楽賞(現サントリー音楽賞)、ウジェーヌ・イザイ・メダル(ベルギー)、芸術祭放送大賞、芸術祭優秀賞、レコードアカデミー賞、モービル音楽賞、N響有馬賞、日本芸術院賞、中島健蔵音楽賞、ウィーン市功労名誉金賞、毎日芸術賞(音楽部門)、文化庁創立五十周年記念表彰など多数受賞、表彰されている。2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十周年記念式典にて御前演奏を行った。2013年文化功労者に選出。2024年11月文化勲章を受章。カナダ・西オンタリオ大学准教授、アメリカ・イリノイ大学教授、インディアナ大学教授等を歴任し、現在桐朋学園大学特命教授(前学長2004年～2013年)、韓国国立芸術大学客員教授。公益財団法人サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長。日本芸術院会員。